

◆半紙一行たて書きに臨書して下さい。出品料430円

元永本古今集(396)



- 1、字句||仁和帝の親王
- 2、形式||半紙をたてに使い、中央に一行で臨書する。落款は左余白に、本文に添う大ききで「〇〇臨」と入れる。
- 3、概観||「私は漢字畑なのでかなはちよっと…」「私はかなをやっているので漢字は…」などの声を聞いたことがあります。平安時代の古筆は、一様に『漢字とかな』がすばらしい調和を見せています。文字の読み書きは当時、教養ある人々のたしなみであったでしょうが、生活の一部でもあったはずで、生活に密着した文字を書く時、「漢字だ」「かなだ」と意識や筆使いを分けるはずはありません。当時の人々の気持ちで、筆を運んでほしいと思います。
- 4、学習のポイント：漢字とかなの調和へその二
 - 「仁」側筆で入筆し、一・二画目は筆圧をかけて引く。四画目はゆっくり引き、短い横画に変化をつける。「和」側筆で太目の「へん」と、鋒先の利いた「つくり」をまねする。●では転折を意識する。●では軽く止める。「帝」全体的に筆圧をかける。●転折を意識し、文字の中心——にも注意。「の」鋒先を利かせて入筆する。右の空間が広い。「親」「へん」は筆圧をかけ空間が出ないように引く。最終画は次の文字へ向かう。ほぼ正方形に収める。「王」一・二画はひと息に引く。二画目の終画は少し左へ傾き、三画目は下から当たってたて画のように引く。最終の横画は短めに引く。

(五月二十二日締切)

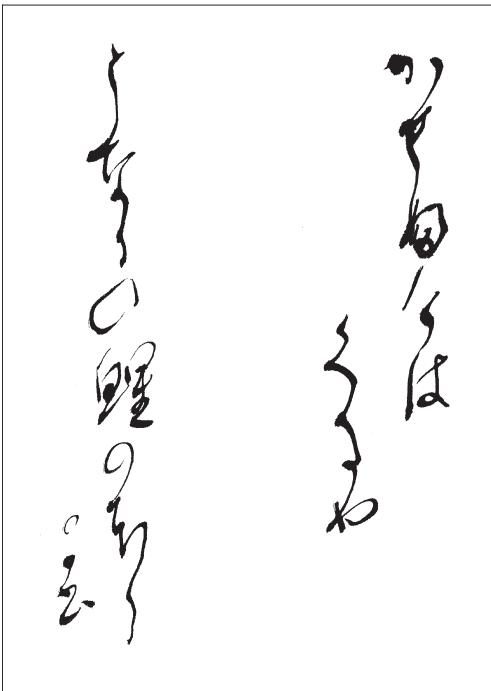
半紙課題(予告)

平岡華雪先生書 画中に詩有り(東坡志林)



訳：絵の中に詩の趣をたたえている。

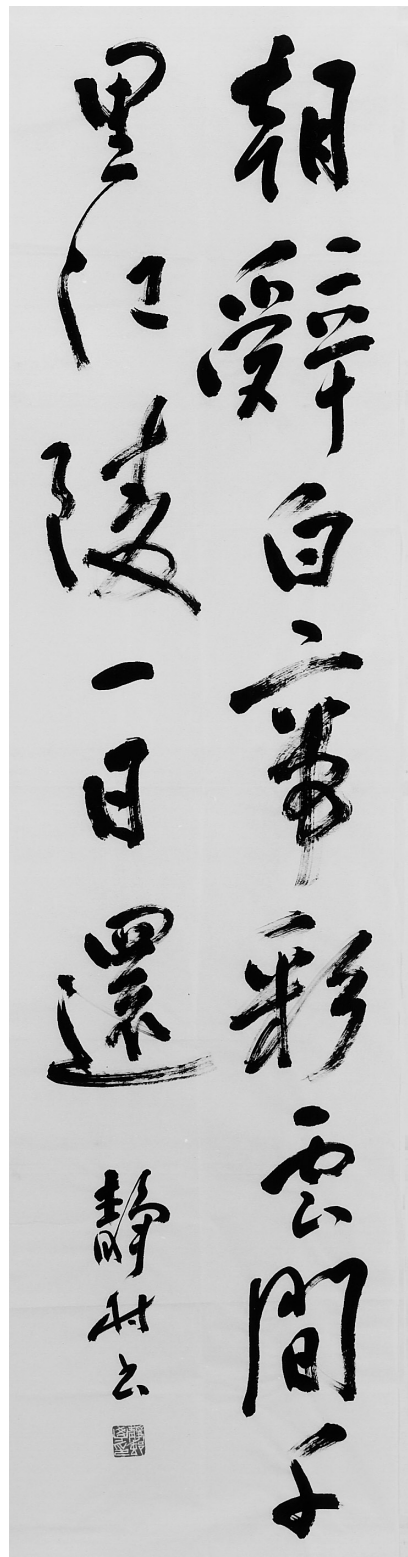
平岡華雪先生書 風吹けば来るや隣の鯉幟(虚子)



A

鈴木静村先生書

朝辭白帝彩雲間 千里江陵一日還 (李白)
あした 辞す 白帝彩雲の間、千里の江陵一日に還る。



B

高橋香樹会长書

名詩の情趣に触れつつ——李白の傑作の一つ、前半の14文字を採りあげました。末筆に縦画の文字(辞・帝・千)が三字含まれている関係、この表出については「千」を草体で、「辞」と「帝」は暢びやかに払う用筆、但「帝」はやや長めに渴筆表出となり、同じ縦画ながら変化の縦画を意図してみました。読み下し通りの語順ですから、「口誦み」しながらの運筆を勧めたいと思います。



「辞」の偏はいろんな形があります。字書で確認のこと。今回の課題では、縦画を伸ばせる文字が三字ありますが、どの文字を伸ばすか考えて構成したい。通常は一行目八字、二行目は六字とするところを、「帝」の縦画を伸ばし、一行目を七字とし、画数の少ない文字が多い二行目を七字とした。墨継ぎは、「雲」と「江」。

訳：朝早くまだあかつき雲の美しい間に、白帝城を辞して三峡を下ると、舟は一気に走って江陵まで千里の舟路を一日で着いてしまった。

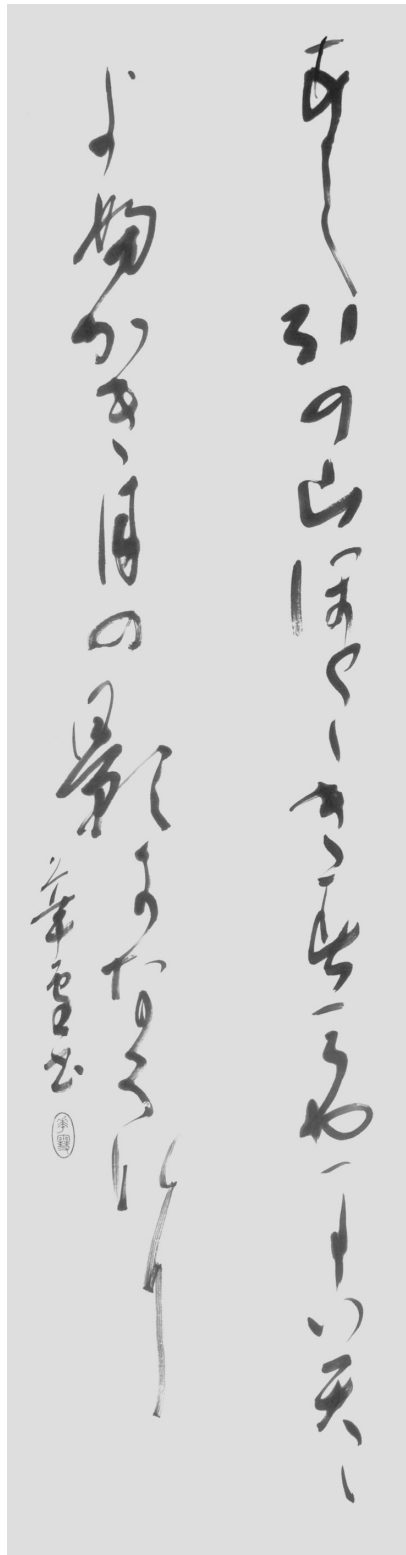
予告 (五月二十二日締切) 李白一斗詩百篇 長安市上酒家眠 (杜甫)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

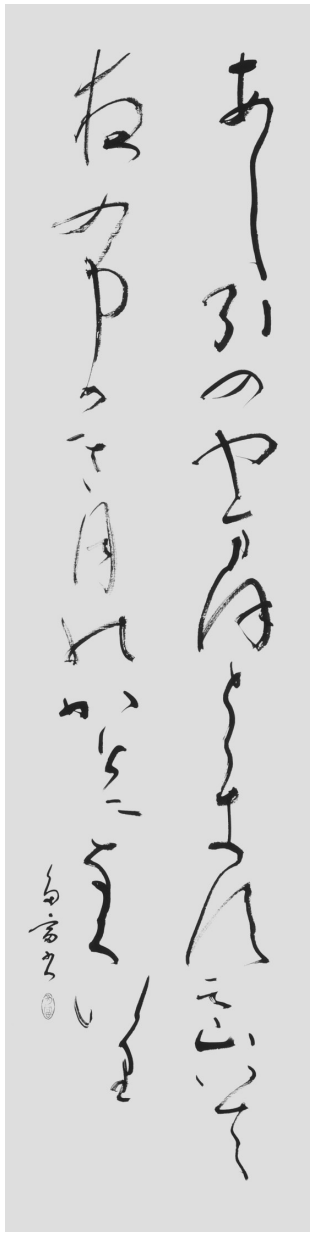
足引のやまほとときぎすみ山いでて夜ふかき月の影に鳴くなり (金槐和歌集)
あし引の山ほと、き春三や万い天、よ婦かき月の影尔な久那り



B

森多富先生書

あし引のや万保と、支須三山いて、夜布可き月能か介二奈久那里



学び方

今月の華雪先生の書は、豊潤な印象で、自由自在な筆致の作品です。行間をたっぷり取っていますが、左右の行が呼応し合っているので、余白が効いています。特に、後半の「影」を大ぶりに書いてインパクトある構成で盛り上げ、最後の渴筆につながり、引き締まった仕上がりになっています。
Bの作品は、濃い墨・長鋒で取り組んでみました。長い連綿は使わず、短い連綿で流れを作り、伸びやかで鋭い線質を目指しました。潤濁がもう少しはっきり出た方が、変化ある表情になったと思います。
作品創作では、文字の組み合わせや、連綿・転折・布置等に悩むこともあります。楽しい過程でもあります。学習した古筆を参考に、オリジナルな作品創作に挑戦して下さい。

金槐和歌集は、鎌倉時代前期の源実朝の家集。略称「金槐集」とも呼ばれる。成立は、建暦三年(一一一三)十二月頃とする説が有力。全一卷、六六三首(貞亨本では七一九首)掲載。「金槐和歌集」の「金」は鎌の偏を表し、「槐」は槐門(大臣の唐名)を表しているため、別名鎌倉右大臣家集といわれている。

予告 (五月二十二日締切)

春すぎて夏きにけらししるたへの衣ほすてふ天の香具山 (新古今和歌集)

持統天皇

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

内藤 香瑤 先生 書

満樹丹青随物換 平生富貴逐春來（許謙）
 満樹の丹青物に随うて換り、平生の富貴春を逐うて来る。

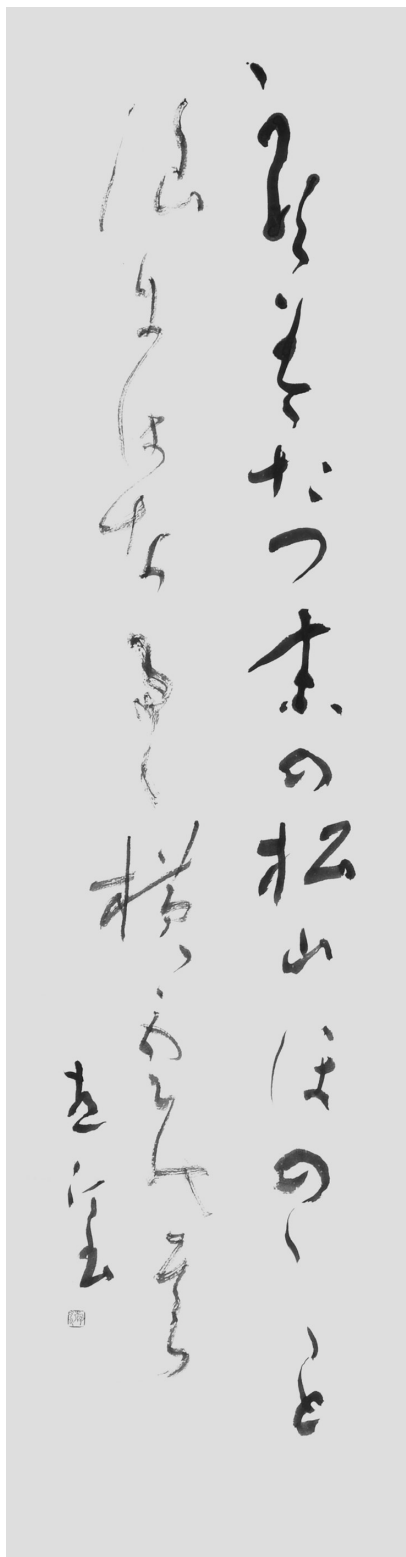


訳：樹に満ちる丹青は変化にしたがって移りかわるが、つねつねの富貴というものは春ごとにくるのである。

立川 遊汀 先生 書

かすみたつ末の松山ほのぐと浪にはなる、横雲の空
 可須美たつ末の松山ほのぐと浪はなる、横雲能そら

（新古今和歌集 藤原家隆朝臣）

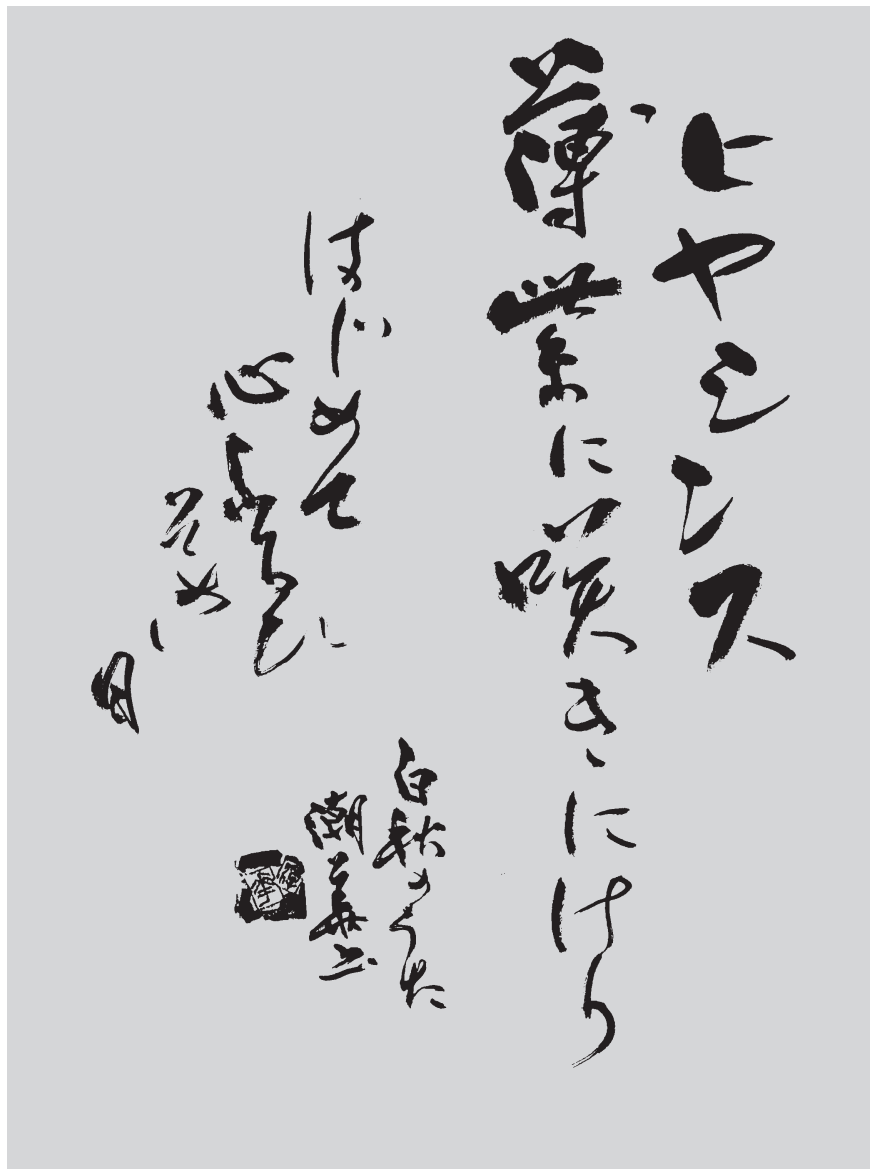


- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料540円）

水貝潮華先生書

ヒヤシンス薄紫に咲きにけり
はじめて心ふるひそめし日

北原白秋



今月はカタカナの入った作品を書いてみました。カタカナは直線的ですが、それをひらがな・漢字の中に溶け込ませ、違和感のない作品づくりをしてみましよう。活字とは違うので、毛筆の弾力を生かし堅くならないことが肝心です。紙面を三つに分け、大字で書き始め、その横に中字の塊りを創るつもりで収めます。そして、その下部の余白に、これも小字の塊りとして落款を書き入れます。しかし、文字数が少ないので、バランスを取るために、大きな印で締めてみました。

北原白秋(一八八五〜一九四二)
詩人、歌人。早稲田大学で若山牧水、土岐善麿らと知り合い、「明星」に短歌を発表。詩集「邪宗門」「思ひ出」、歌集「桐の花」で高い評価を受け、反アララギの拠点となる。童謡・民謡にも卓越。

北原白秋(一八八五〜一九四二)
詩人、歌人。早稲田大学で若山牧水、土岐善麿らと知り合い、「明星」に短歌を発表。詩集「邪宗門」「思ひ出」、歌集「桐の花」で高い評価を受け、反アララギの拠点となる。童謡・民謡にも卓越。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

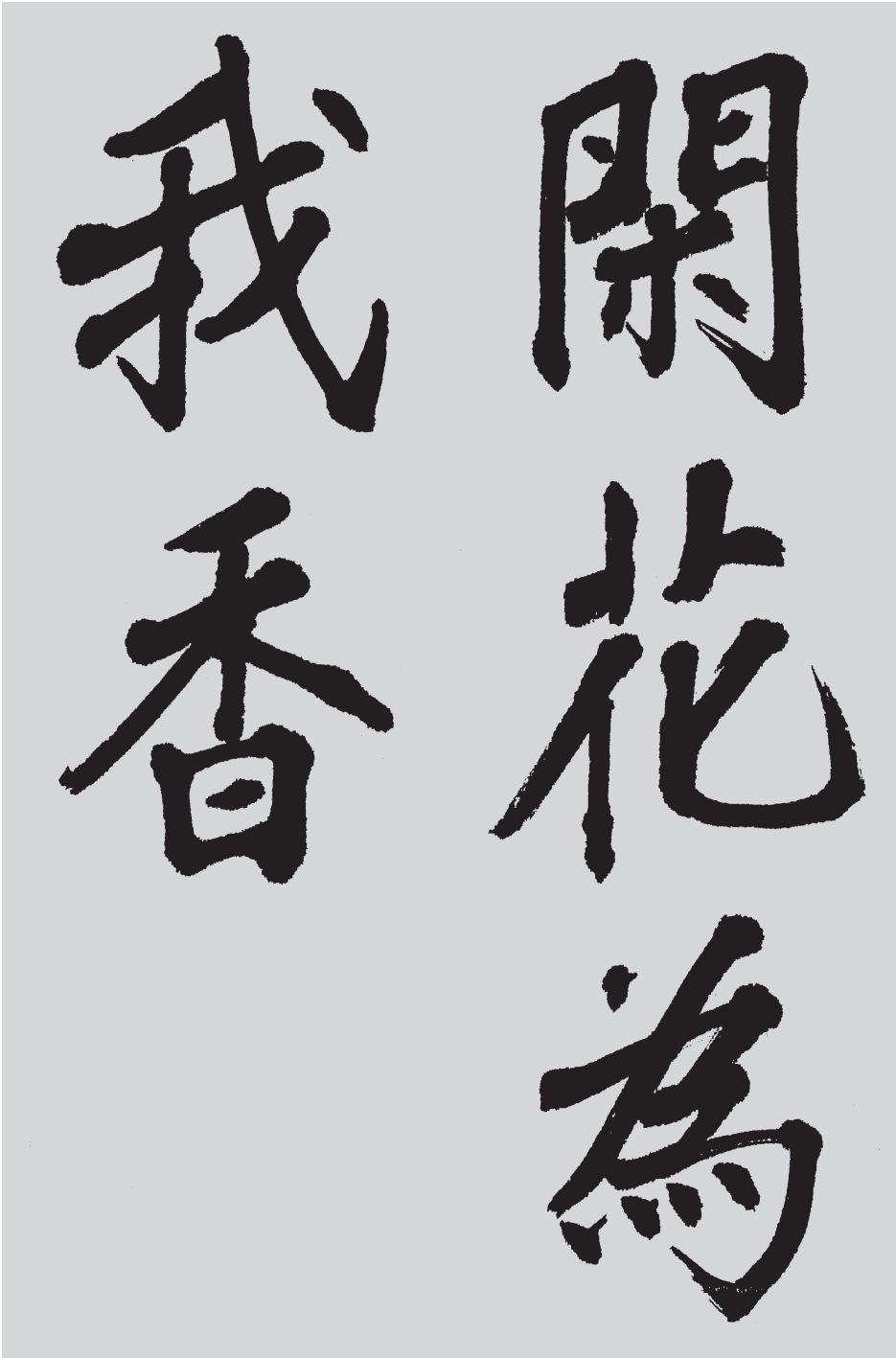
平岡華雪先生書

閑花我が為に香し(黎簡)

訳：閑地に咲く花はわが為に香気を放つのである。

〈四つのはね〉

四文字に、それぞれ違った「はね」があります。「はね」というより「趣く」という意識がよいと思います。方向と角度を確かめて趣き出して下さい。元氣よくはねるのではなく、静かに押し出す筆意です。

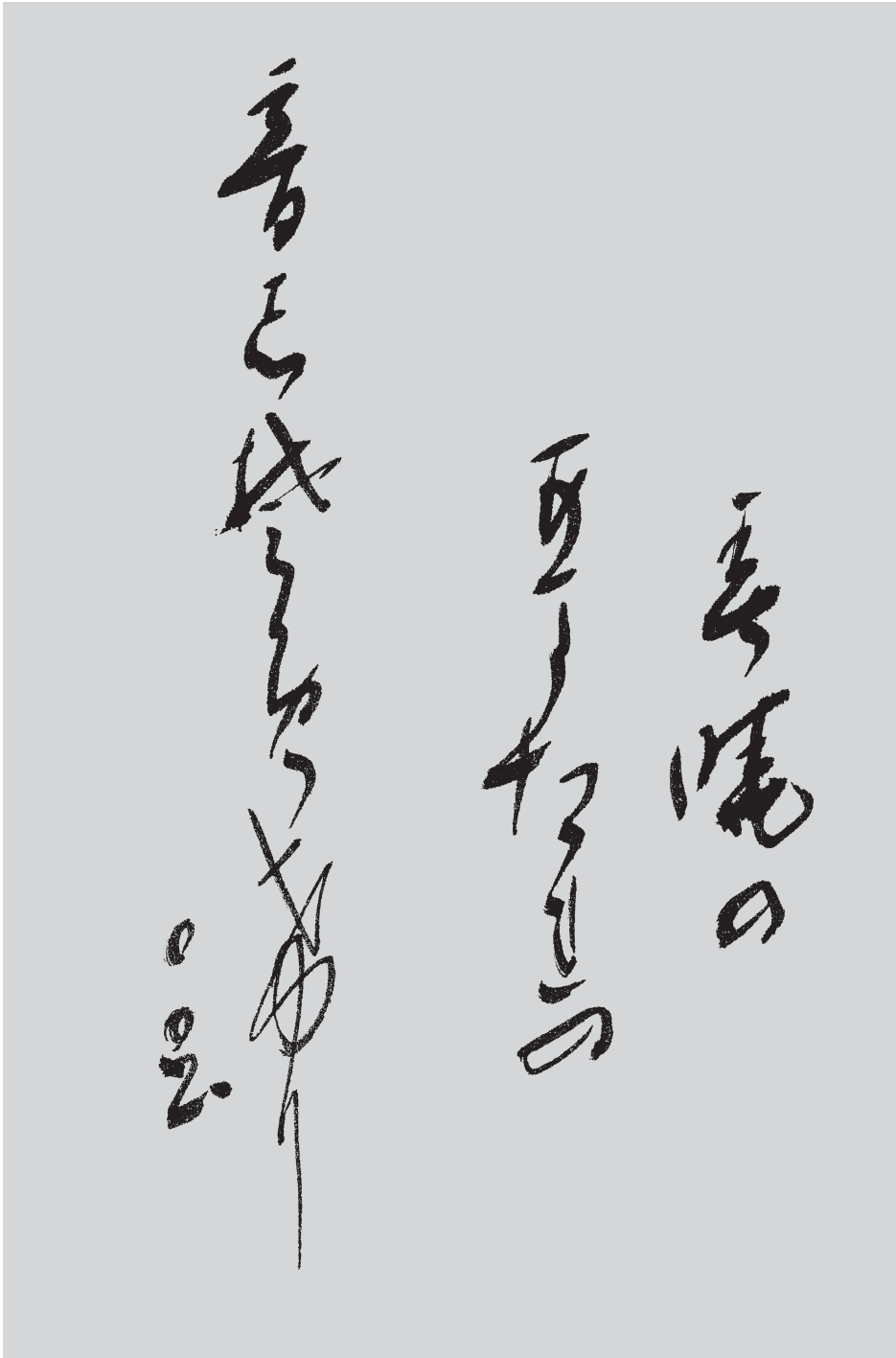


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

春暁のあまだれの音しそめけり(蕪村)
春暁のあ^まだ^れ連の音志楚^し免^そ希^めり



〈妙趣の書線〉
「あまた連の」「志楚免希り」は特に好きな筆調。華雪先生かな線の妙趣であり、大いに筆意を字び撰ってほしい。中心線を視点に見ると、特に三行目「音志楚」は左に寄せ、以下は字幅・太細を混えて右寄りに流れ、「希り」の直線的細線は現代性豊かで清々しい。

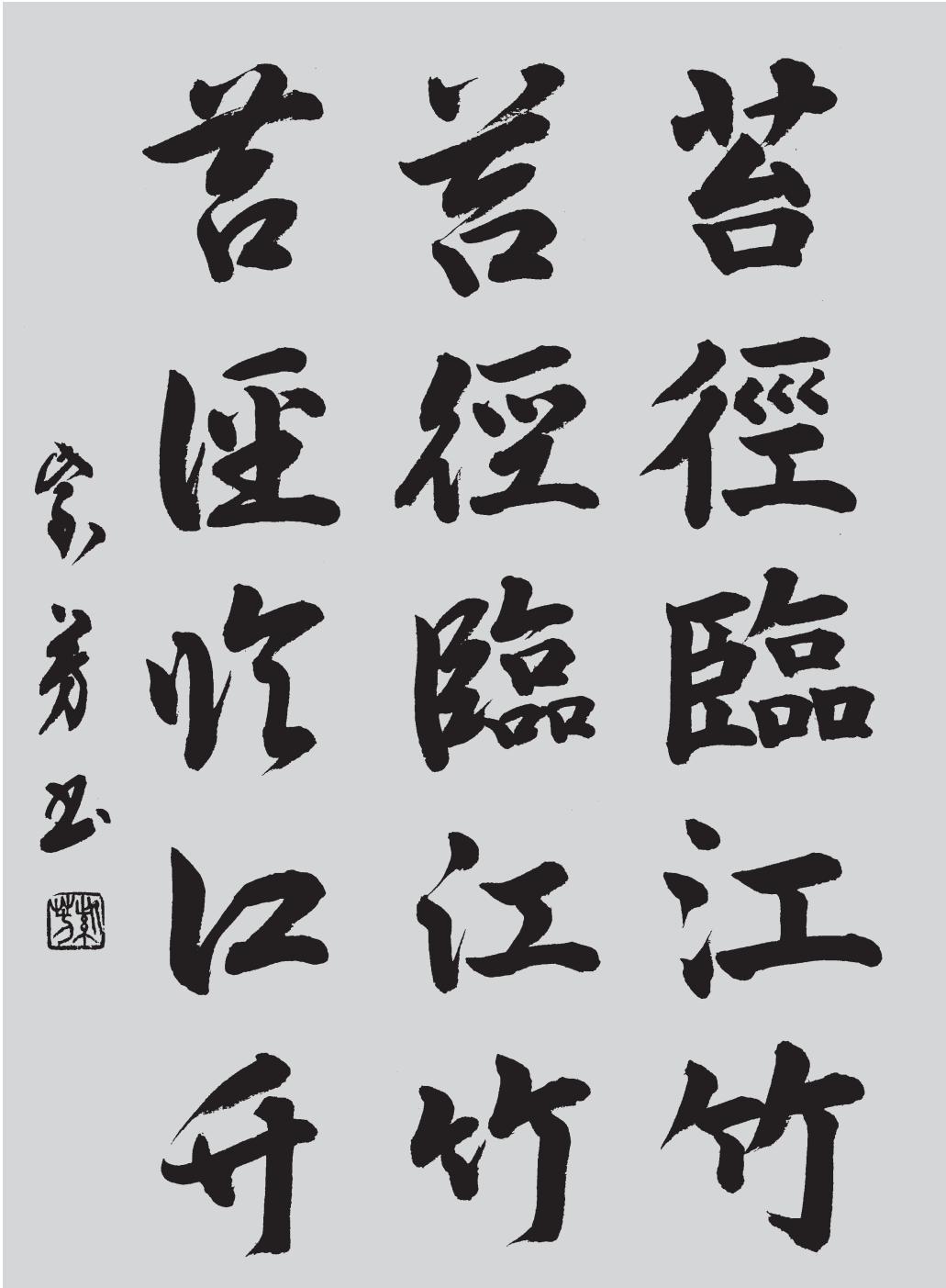
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

楷、行、草、三 体 参 考

高橋紫芳先生書

苔徑臨江竹（杜甫）
苔徑たいけい 江かうに臨のぞむ竹たけ



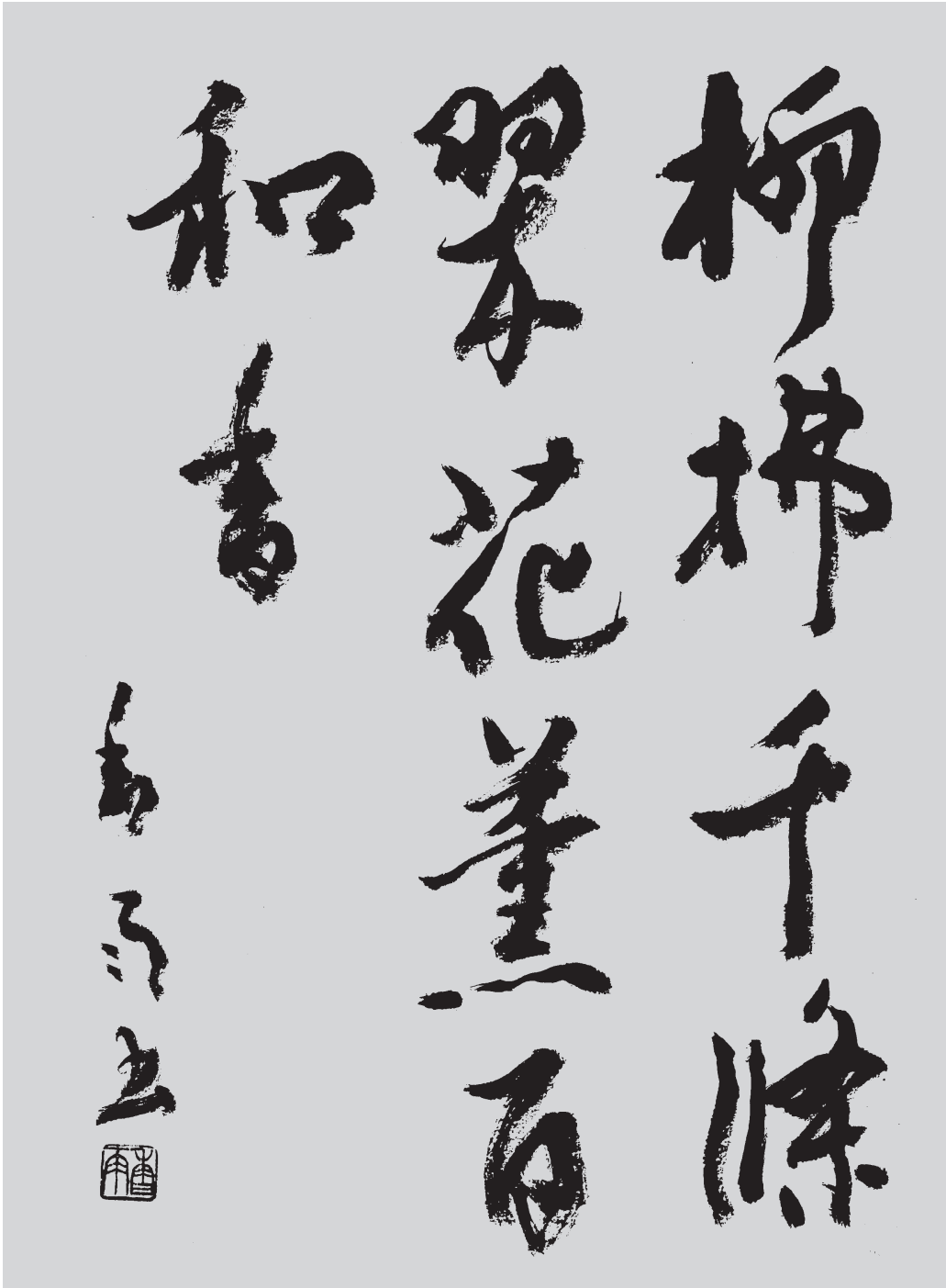
訳：苔むした小道の向こうには、川にのぞんで生えている竹。

1. 随意部参考として出品してください。 2. 会員外の出品料は430円。

随 意 部 参 考

酒 井 香 雨 先 生 書

柳拂千條翠 花薰百和香（許彬）
柳は払う千条の翠に、花は薫じ百和香し。

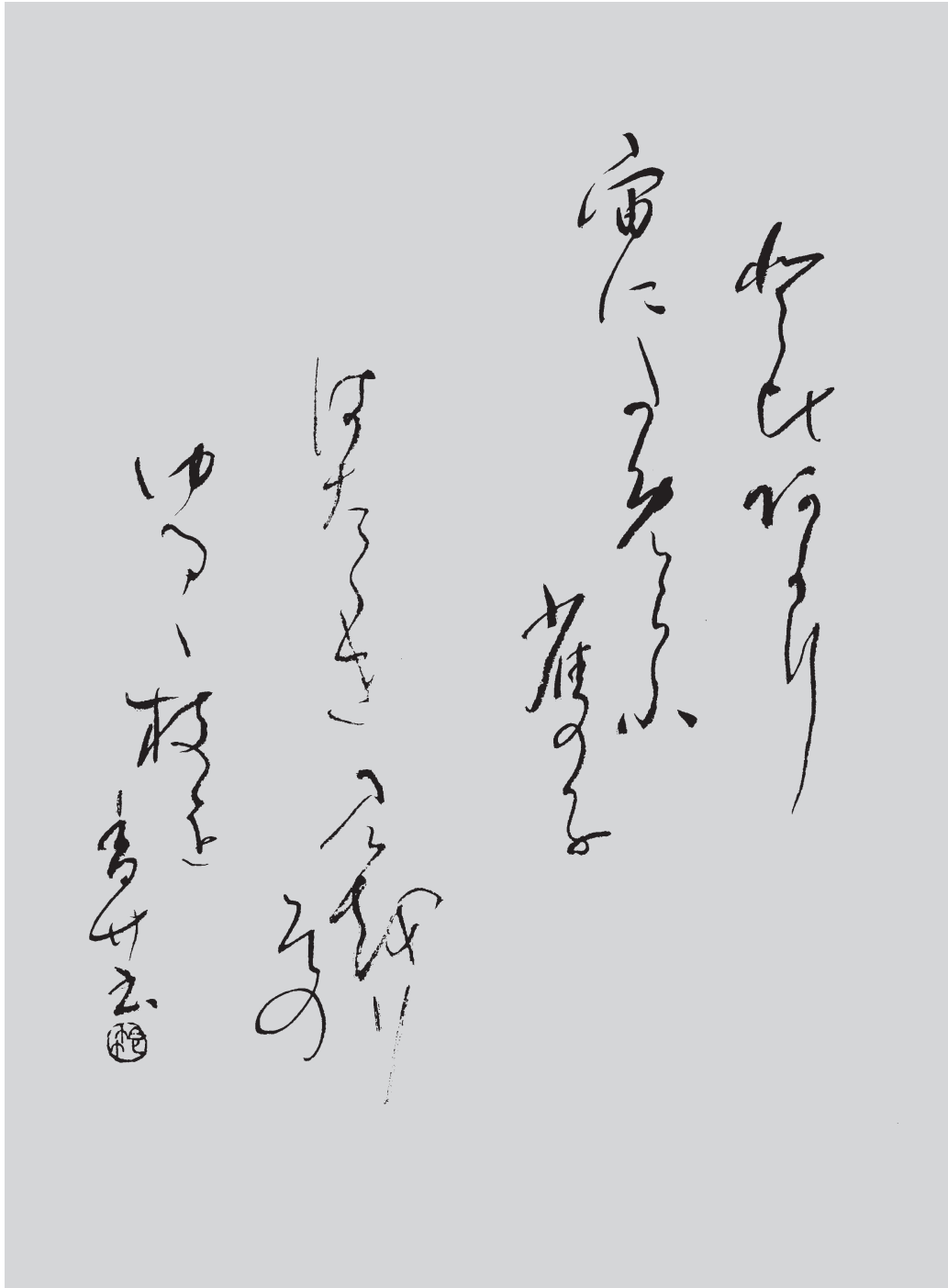


訳：楊柳はなよなよと千糸の線をなびかせ、花は香気を発してあい和してよくにおう。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

随 意 部 参 考

青柳香竹先生書



飛びあがり宙にためらふ雀の子羽たき見をりその揺るる枝を（北原白秋）
登比阿可り宙に多免らふ雀の子はた、き見越りそのゆる、枝を

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

稲畑 穂先生書

川上 香蓉先生書

課題 2 (初段階以下)

課題 1 (初段階以上)

長良川で一度釣ると他の川は物足りなそうだった。この川は日本で最も豪快なアユ釣りのできる川だ。

雨の中を漕ぐ。魚野川との合流点。谷川岳に源を持つ新瀧一美しい川だ。小千谷の発電所で水が戻ってくると、川はいよいよ大河となった。

課題 1 (初段階以上)

雨の中を漕ぐ。魚野川との合流点。谷川岳に源を持つ新瀧一美しい川だ。小千谷の発電所で水が戻ってくる、川はいよいよ大河となった。

『日本の川を旅する』

信濃川 野田知佑

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円

課題 2 (初段階以下)

長良川で一度釣ると他の川は物足りないそうだった。この川は日本で最も豪快なアユ釣りのできる川だ。

『日本の川を旅する』

長良川 野田知佑

一字書（四月二十二日締切）

課題

密

- (1) 書体自由
- (2) 半紙タテ ※ヨコは中止
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四三〇円
- (5) パーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣の空欄に一字と記入 段級は無記入

書苑会創立七十周年記念展

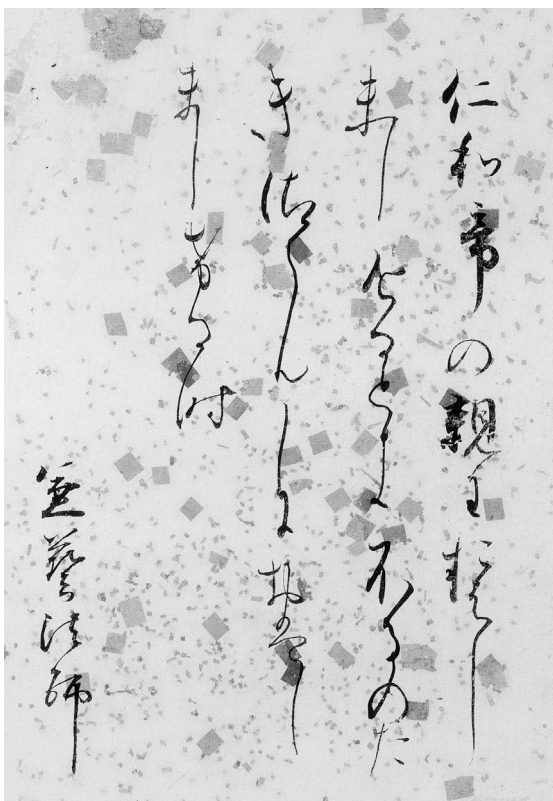
会期 二〇二〇年二月一日（土）～四日（火）

会場 上野の森美術館

― 展覧会概要 ―

- ・ 全会員中の有志による本格的な展覧会
 - ・ 毛筆部・硬筆部（全員展示）
 - ・ 準推薦以下は昇段級あり
 - ・ 学生部（毛筆全員展示・昇段級あり）
- ※四月号に出品希望者アンケートを同封します。

元永本古今集



条幅随意部として

『仁和帝の親王^お於^は者^はし末^まし介^けると支^さ

不^ふるのたき御^おらんし^に尔^に 兼藝法師』

と、半切二行に臨書する。「仁和帝」「親王」「御」「兼藝法師」がかなと調和するように書く。落款は入れない。

※随意部参考（半紙・条幅）としてもご利用下さい。抜粋可。

随意部半紙は無料。随意部条幅は一枚目無料、二枚目から五四〇円。